研究データ利活用協議会
RDUF
Research Data Utilization Forum

研究データ利活用協議会

2023年12月

研究データ利活用協議会事務局

研究データ利活用協議会
RDUF
Research Data Utilization Forum

- RDUFとは？
- これまでの活動実績
- 小委員会について
- 部会について
- 入会のご案内

研究データ利活用協議会
RDUF
Research Data Utilization Forum

- RDUFとは？
- これまでの活動実績
- 小委員会について
- 部会について
- 入会のご案内

研究データ利活用協議会
RDUF
Research Data Utilization Forum

RDUFについて

◆研究データ利活用協議会（RDUFとは？）

- オープンサイエンスの推進に向けて、研究データの利活用を進める関係者により個々の組織や分野を超えた情報共有や議論を行うコミュニティ。
- 研究データ利活用に関する国内外の事例の共有などにより、我が国における研究データ利活用を推進することに寄与することが目的。
- 研究者（データ提供者、データ利用者）、大学・研究機関のデータ・リポジトリ関係者、図書館員など幅広い分野の関係者などが個人会員として参加している。

◆設立の経緯

- 「研究データへのDOI登録実験プロジェクト」を通して生まれた分野を横断した研究データ担当者コミュニティを母体として、データ利活用に係る議論をさらに促進するため、2016年6月3日に設立。

研究データ利活用協議会
RDUF
Research Data Utilization Forum

RDUFについて

◆会員

- 個人会員（約190名）
  研究者（データ提供者、データ利用者）大学・研究機関のデータリポジトリ関係者、図書館員など幅広い分野から参加。
- 機関会員（8機関）
  RDUFの目的に賛同し、活動に貢献する企業又は団体等。

◆企画委員会

RDUFの運営を効率的かつ円滑に推進するため設置。企画委員会を開催し、年度ごとの活動方針や活動総括の策定、機関会員入会の審査などを行う。

研究データ利活用協議会
RDUF
Research Data Utilization Forum

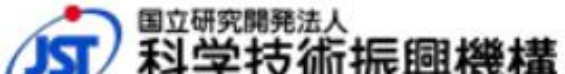
個人会員数推移

(12月時点)

現在の個人会員数は190名

研究データ利活用協議会
RDUF
Research Data Utilization Forum

機関会員（8機関）



機関会員：RDUF の活動の趣旨に賛同し、RDUFの活動に主体的に関わる機関
2023年度新規加入なし

研究データ利活用協議会
RDUF
Research Data Utilization Forum

RDUFについて

◆2023年度の活動方針

1. 様々な知見やユースケースを共有し、関係者間のネットワークを構築・強化するための場をつくる。

2. 参加機関の現場の抱える関心事などについて検討し、その結果を「研究データ利活用協議会」の成果物（ガイドライン、ノウハウ集、事例集など）としてまとめることを目指す。

3. 普及・広報活動を強化し、「研究データ利活用協議会」のプレゼンス向上を図る。

研究データ利活用協議会
RDUF
Research Data Utilization Forum

RDUFについて

◆ 活動体制

企画委員会

事務局（JST）

小委員会

（活動期限1年）

研究データの利活用についてテーマを設け、
成果物の作成に取り組む。

- 研究データへのDOI登録促進
- 研究資料・実験機器へのPID付与検討小委員会（活動終了→本日発表あり）
- 人文学・社会科学のデータ共有における課題検討（終了）
- データ管理計画（終了）
- 研究データのライセンス検討プロジェクト/研究データライセンス（終了）
- リサーチデータサイテーション（終了）

部会（常設）

小委員会活動等によって
得られた知見 の継承と展開
を長期的、継続的に行う。

- ジャパンデータリポジトリネットワーク推進部会（JDARN）
- データ共有・公開制度検討部会

【会員の活動】
- 小委員会、部会への参加（有志）
- メーリングリストでの議論、情報共有
- 企画委員の信任投票
- イベント参加

研究データ利活用協議会
RDUF
Research Data Utilization Forum

- RDUFとは？
- これまでの活動実績
- 小委員会について
- 部会について
- 入会のご案内

研究データ利活用協議会
RDUF
Research Data Utilization Forum

これまでの活動実績

2016

6月　設立
- Webサイト・メーリングリスト開設
- 公開キックオフミーティング開催
- 研究会（全3回）、サイエンスアゴラ出展

2017

6月　企画委員会発足
公開シンポジウム～オープンサイエンスを巡る世界動向～
データ管理計画（小委員会）設置
研究データのライセンスプロジェクト（小委員会）設置

11月「**デジタルアーカイブ**」と「**研究データ**」**の出会いシンポジウム**

2018

6月　Japan Open Science Summit2018参加

11月 リサーチデータサイテーション（小委員会）設置

研究データ利活用協議会
RDUF
Research Data Utilization Forum

これまでの活動実績

2019

- **2月　公開シンポジウム～研究データ利活用の更なる促進のために～**
- **6月　Japan Open Science Summit2019参加**
- **7月**　研究データライセンス（小委員会）設置
- **10月　RDA × RDUF Meeting**

2020

- **1月**　ジャパン・データリポジトリ・ネットワーク（小委員会）設置
- **12月　公開シンポジウム（初のオンライン開催）**
  ・全ての小委員会が活動終了

2021

- **2月　運営規則改定**
  ・部会設置
  ・企画委員会任期制度改定

データ共有・公開制度検討部会設置
ジャパンデータリポジトリネットワーク推進部会設置

研究データ利活用協議会
RDUF
Research Data Utilization Forum

これまでの活動実績

2021

- **6月** **Japan Open Science Summit2021参加**
- **10月** 人文学・社会科学のデータ共有における課題検討（小委員会）設置
- **11月** **公開シンポジウム開催**
  研究データへの DOI 登録促進（小委員会）設置

2022

- **4 月** 研究資料・実験機器へのPID付与検討小委員会（小委員会）設置
- **6月** **Japan Open Science Summit2022参加**
- **11月** **公開シンポジウム開催**

研究データ利活用協議会
RDUF
Research Data Utilization Forum

これまでの活動実績

2023

- **3月**　人文学・社会科学のデータ共有における課題検討 成果物公開
- **6月**　**Japan Open Science Summit2023 参加**
- **8月**　企画委員会・部会での情報共有を初めて実施
- **11 月**　研究資料・実験機器へのPID付与検討小委員会 成果物公開
- **12月**　**公開シンポジウム開催**

その他、各種広報活動や各委員・小委員会・部会による講演、セッション開催、RDAへの参加など随時実施

研究データ利活用協議会
RDUF
Research Data Utilization Forum

- RDUFとは？
- これまでの活動実績
- 小委員会について
- 部会について
- 入会のご案内

研究データ利活用協議会
RDUF
Research Data Utilization Forum

小委員会とは

◆小委員会の目的

研究データ利活用について議論するResearch Data Alliance（RDA）に倣って、有志による議論・意見交換を行い、研究データの利活用に向けて提言や指針をまとめる場として設置。

活動期間は1年間。（延長、再設置可能。）

まとめられた提言などは成果物として公開し、活用を図っていく。
RDUF会員であれば参加可能。

◆活動内容

グループ討議、全体討議、外部発表 等

最終的に成果物を取りまとめ、公開する。

研究データ利活用協議会
RDUF
Research Data Utilization Forum

これまでに活動した小委員会

➢研究資料・実験機器へのPID付与検討小委員会

2022年4月設置。

研究に用いた有体物に関する情報もサイバー空間において参照できるようにするため、有体物としての研究資源に付与する永続的識別子(PID)とこれに付随するメタデータの管理と利活用に関する調査を実施する。

テーマに関して対象者別に提言を行ったほか、PIDNIST日本語訳ドキュメントを公開した。

➔本日発表予定

研究データ利活用協議会
RDUF
Research Data Utilization Forum

活動中小委員会

➢研究データへのDOI登録促進

2021年11月設置。

現在の研究データへのDOI登録に関する運用経験、実情、課題等を

調査・議論し、検討・調査結果等を成果物としてとりまとめることで、

研究データへのDOI登録促進を目指す。

成果物として研究データへのDOI登録におけるガイドラインを作成している。

➔本日発表予定

研究データ利活用協議会
RDUF
Research Data Utilization Forum

小委員会の設置

◆小委員会の設置

小委員会で自らが先導して検討する意志を持つＲＤＵＦ会員であれば誰でも提案可能。

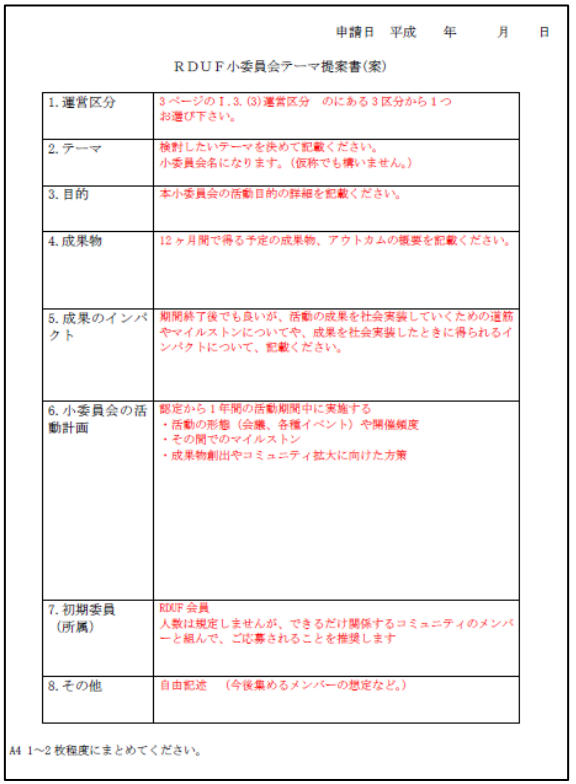
（事前にコアメンバーを組んでからの応募を推奨）

◆設置要件

小委員会募集要項の内容を踏まえ、規定の提案書様式に則って応募。

下記に掲載

https://japanlinkcenter.org/rduf/subcommittee/index.html



申請日　平成　　年　　月　　日

RDUF小委員会テーマ提案書(案)

1. 運営区分	3ページの1. 3. (3)運営区分　のにある3区分から1つお選び下さい。
2. テーマ	検討したいテーマを決めて記載ください。 小委員会名になります。(仮称でも構いません。)
3. 目的	本小委員会の活動目的の詳細を記載ください。
4. 成果物	12ヶ月間で得る予定の成果物、アウトカムの概要を記載ください。
5. 成果のインパクト	期間終了後でも良いが、活動の成果を社会実装していくための道筋やマイルストンについてや、成果を社会実装したときに得られるインパクトについて、記載ください。
6. 小委員会の活動計画	認定から1年間の活動期間中に実施する ・活動の形態（会議、各種イベント）や開催頻度 ・その間でのマイルストン ・成果物創出やコミュニティ拡大に向けた方策
7. 初期委員（所属）	RDUF 会員 人数は規定しませんが、できるだけ関係するコミュニティのメンバーと組んで、ご応募されることを推奨します
8. その他	自由記述　（今後集めるメンバーの想定など。）

A4 1~2枚程度にまとめてください。

過去の成果物はRDUFWebサイトで公開しています！
意見交換会などで是非お声がけしてみてください！

研究データ利活用協議会
RDUF
Research Data Utilization Forum

- RDUFとは？
- これまでの活動実績
- 小委員会について
- 部会について
- 入会のご案内

研究データ利活用協議会
RDUF
Research Data Utilization Forum

部会とは

◆部会の目的

小委員会活動等によって得られた知見の継承と展開を長期的、継続的に行うことを目的とし、活動期限に縛られない枠組みとして設置する。

◆活動内容

小委員会成果物の更新や利活用促進、継続的な議論、コミュニティの拡大等

研究データ利活用協議会
RDUF
Research Data Utilization Forum

活動中部会

- **データ共有・公開制度検討部会**
  「RDUF 研究データライセンス小委員会」による活動の継承と展開を目的とする。主な活動として研究データの公開・利用条件ガイドラインの作成と普及等を行っている。

➔本日活動報告予定

- **ジャパンデータリポジトリネットワーク推進部会(JDARN)**
  「JDARN小委員会」活動の継承および展開を目的とする。
  主な活動としてデータリポジトリ整備・運用ガイドラインの草案執筆等を行っている。

➔本日活動報告予定

研究データ利活用協議会
RDUF
Research Data Utilization Forum

- RDUFとは？
- これまでの活動実績
- 小委員会について
- 入会のご案内

研究データ利活用協議会
RDUF
Research Data Utilization Forum

入会のご案内

RDUFへ参加しませんか？

本協議会（RDUF）に入会すると、関連イベントなどの情報をメールでお届けします。
メーリスで会員同士の情報共有も可能です。

オープンサイエンスにおいても重要視される、
データ共有・利活用のコミュニティに参加しませんか？
（参加費無料！）

■ 詳細はこちら
https://japanlinkcenter.org/rduf/about/index.html

入会はこちらから！

研究データ利活用協議会
RDUF
Research Data Utilization Forum

Japan Link Center

宣伝（ジャパンリンクセンター事務局より）

JaLC説明会

日時：2023年12月20日（水）　13：30～15：00

開催方法：オンライン

内容：DOIやJaLCの解説、DOI登録例、JaLC提供サービスのデモなど

（事務局への質疑応答あり。相談も承ります。）

DOIに興味がある方、
DOIの登録方法など基本的な説明を再度聞きたい方、JaLCサービスについてより知りたい方
などにおすすめです。

第10回対話・共創の場

日時：2024年1月25日（木）　14：00～16：50

開催方法：オンライン

内容：

●DOI登録事例紹介
●講演やパネルディスカッション テーマ：「JaLCの今昔について」
●意見交換（質疑応答中心の予定

記念すべき第10回となります。
JaLC立ち上げに関わった方々のパネルディスカッションを実施予定です。

いずれも参加登録が必須です！
詳しくはチャット欄に送付した「JaLCイベントページ」をご覧下さい。